

社会福祉学部行政専修で「公務員育成チャレンジプロジェクト」がスタート！

日本福祉大学では、2018年5月より、公務員を目指す社会福祉学部行政専修の1年生を対象に、自治体が抱える課題に対して学生が解決案を提言する「公務員育成チャレンジプロジェクト」を始めました。その目的や学びのポイントについて紹介します。

1年次から実際の街づくりに関わり、県・市・町の公務員の世界を体感。

このプロジェクトは、早い段階から公務員の具体的な仕事内容ややりがいを掴んでもらうことを目的に、愛知県、東海市、美浜町の3つの自治体に協力いただき実現しました。自治体が今まさに困っている課題に対して学生が考え、提言するという試みは、他にあまり例がないと思います。この貴重な体験ができる上に、県・市・町の特徴を一挙に味わえることも醍醐味。さらに自分たちで企画を出して終わりではなく、住民や当事者の方に意見をもらう場も用意するなど、さまざまな人の意見を取り入れてアイデアを磨くプロセスは、学生にとって大きな意味があると思います。本企画では学生の主体性を大事にしています。そのため教師陣は学生と併走し、適宜アドバイスを伝えるというスタンスで本企画を進めてきました。企画内容もプレゼンテーションも学生同士で意見を言い合い、高めていける工夫を凝らしています。プロジェクトは全7回ですが、希望する学生は2年次のゼミナールで企画の実行に取り組むこともできます。プロジェクトを機に、広い視野を持って将来につながる学びを自ら選び、深めていってほしいと思います。



社会福祉学部 行政専修長
末盛 慶

学びのポイント

第1回

自治体の方が行政課題を学生に説明

第2回

グループワークで解決策を議論

第3回

中間発表会 地域住民・当事者にプレゼンテーション

第4回

地域住民や当事者の意見を取り入れ、改善点を話し合うグループワーク

第5回

プレゼンテーション練習会

第6回

最終発表会 自治体の方にプレゼンテーション

第7回

2年次の学びにつながる公務員試験対策講座のガイダンス

自治体から提示された課題一覧

愛知県

- 少子化の流れを変えるためには、どうしたら良いか？
- 安心・安全に子どもを妊娠・出産するためには、どのようにサポートすれば良いか？
- 小学生が放課後に安心して過ごすことができる居場所を確保するためには、どうすれば良いか？
- ひとり親家庭に必要な支援情報を届けるためには、どうすれば良いか？
- 児童養護施設等で生活する子どもが自立するためには、どうすれば良いか？

東海市

- 子育て支援・ひとづくり
- 高齢者福祉（地域包括ケア・高齢者の支えあい）
- 地域防災力の向上
- シティプロモーション
- 観光振興

美浜町

- みはまイルミネーション
- ラッピングバス
- 地域資源を活かした地域ブランドの開発と情報発信
- 知多奥田駅周辺のまちづくり
- 美しいまちをつくろう～ゴミの出し方～



他グループの発表を真剣に聞く学生たち。

最終発表会 ウォッチング



高齢者福祉の取り組みとして、貸し農園などを提案した東海市チーム。



東海市職員の方からお褒めの言葉も。



改善点をアドバイスする美浜町職員の方。

Interview



行政の課題に関心を
持ってもら
絶好の場だと思います。

愛知県
健康福祉部
児童家庭課課長
川合 光久さん

学生さんと共同で行政の取り組みを進めた例は過去にあります。このように課題について提案いただく機会はなく、先駆的な取り組みだと感じています。最終発表会では、まさに今、職場で話題になっている点を指摘され、少し前まで高校生だった皆さんが半年間でここまで成長するのかと驚きました。データに基づいて分析されており、プレゼンも立派だったので、相当勉強されたのではないのでしょうか。若い方の感性に刺激を受けました。



取り組んだ
課題
小学生が放課後に安心して過ごすことができる居場所を確保するためには、どうすれば良いか？

坂田 翔悟さん
社会福祉学部 行政専修1年
愛知県／岡崎豊学校出身
鶴田 実駆さん
社会福祉学部 行政専修1年
愛知県／知立高校出身
畑矢 舞羽さん
社会福祉学部 行政専修1年
福井県／北陸高校出身
内田 萌子さん
社会福祉学部 行政専修1年
愛知県／一宮興道高校出身

さまざまな立場で考えを巡らす
大切に気付きました。

課題に取り組んでみて痛感したのは、ひとつの問題を深く考えることの難しさです。当初はメンバー間で次々にアイデアが出て、簡単に解決できる気がしたのですが、第3回の講義で中間発表をした際、地域住民の方から質疑を受け、自分たちの考えがいかに甘かったかを思い知らされました。そこから試行錯誤して迎えた最終発表会。自治体の方々の意見を聞いて、また違った視点に気付くなど、今後の学びに活きる貴重な経験になりました。